

空色レポート

SORAIRO REPORT

気象キャスターネットワークの活動をご紹介します

特集

「地球温暖化の適応策って何ですか？」

20号
2022

協賛企業・団体募集のご案内

子どもたちへの気象や環境に関する様々な出前授業を全国各地の小中学校や幼稚園などで実施しております。天気の実験やクイズを織り交ぜ、楽しみながら学べる授業です。天気や環境に関心を持ち、防災や地球環境を守る行動につながられるよう、気象キャスターが分かりやすく解説します。皆さまのご協賛、ご支援をよろしくお願いいたします。

講演・イベント承ります

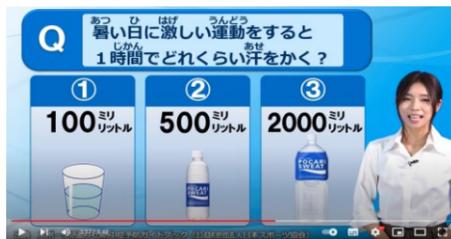
気象キャスターや気象予報士が、天気や防災、環境について講演や講座、イベントなどを全国各地で開催しています。気象キャスターによる講演のほか、親子で楽しく学べるイベントなども多数実施しております。詳しくは当会HPよりお問い合わせください。

【講演例】

- ・地球温暖化の影響と災害への備え
- ・気象キャスターがみた地球温暖化と異常気象

WCNおすすめコンテンツ

気象キャスターネットワークwith YouTube

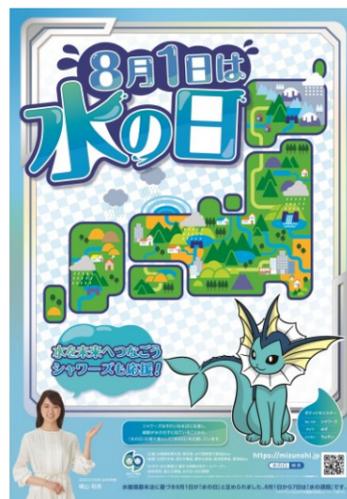


気象予報士と学ぶ2022年の熱中症対策

当会では、YouTubeチャンネルにて熱中症対策や2100年の天気予報などの動画をアップしています。他にも、家族で楽しめる天気の実験動画や、会員の方からお寄せいただいた動画をアップしています。

チャンネル登録お待ちしております！

8月1日は「水の日」 8月1日～7日は「水の週間」です



水の日・水の週間には、水の貴重さや大切さを考えるための様々な行事・イベントが行われていて、気象キャスターネットワークもイベントに協力をしています。

主催：水循環政策本部、東京都、水の週間実行委員会ほか

後援：文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省ほか

発行

NPO法人 気象キャスターネットワーク



私たちは、全国で活躍する気象キャスターとその経験者、気象予報士などが一体となって、地球環境問題の解決や気象災害の軽減に関する知識普及啓発活動を行いことを目的として2004年に設立された特定非営利活動法人です。

〒110-0002
東京都台東区上野桜木1-14-21
高遠レジデンス上野桜木202号室
TEL：03-5832-9401 FAX：03-5832-9402

表紙写真：水越祐一さん
発行日：2022年7月25日



地球温暖化の「適応策」って何ですか？

地球温暖化の「適応策」

最近よく耳にしますが、具体的にどんなことを指すのかよく分からない…。

そんな今更聞けない質問を専門家の方に伺ってみました。

教えてくださったのは

環境省地球環境局総務課気候変動適応室

室長補佐 秋山奈々子さん

地球温暖化の「適応策」って何ですか？

世界の平均気温は、工業化以前に比べて約1度上昇しています。日本でも平成30年7月豪雨（西日本豪雨）や、令和元年東日本台風など、これまでに例のない規模の気象災害が起きており、その要因の一つに地球温暖化があると考えられています。

今後もCO₂などの温室効果ガスを排出し続けると、さらに温暖化が進むことで、過去に例のない高温や気象災害、農作物の品質低下、熱中症の増加など、様々な分野で深刻な影響が生じる可能性があります。気候が今後どのように変化し、それに伴ってどのような影響が生じるかを知り、事前に対策を行うことで、その影響を回避・軽減することを「気候変動適応」と言い、その対策のことを「適応策」と呼んでいます。

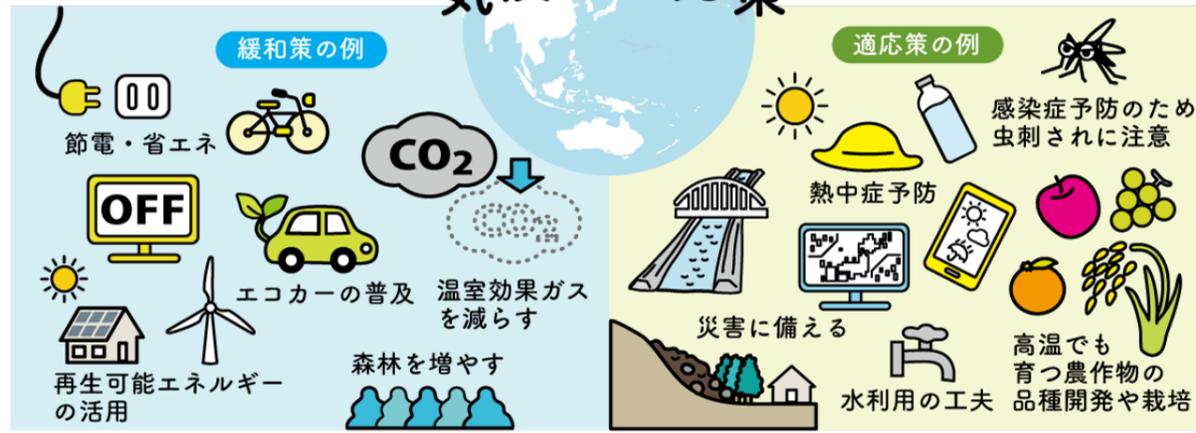
緩和とは？

原因を少なく

2つの気候変動対策

適応とは？

影響に備える



気候変動による人間社会や自然への影響を回避するためには、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制すること（緩和）が重要です。

緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていくこと（適応）が重要です。

どうして適応策が必要なのですか？

これまで、過去に経験した災害や影響に耐えられるように対策が行われてきましたが、地球温暖化によって過去に例のない被害が生じる可能性が高まっているため、将来の影響にも耐えられる対策（適応策）を行っていく必要があります。



品質低下や収量低下を見越して、高温耐性品種の開発などの「適応策」が進められています。

実際にどんな取り組みをしているのですか？

例えば気象災害対策では、将来の降水量の増加にも耐えられるように、これまで実施してきた堤防などの整備に加えて、湿地の遊水機能の活用や避難等のソフト対策を組み合わせることで流域全体で水害を軽減させる「流域治水」という取組が始まっています。また農業分野では、気温上昇によって既にお米や果物などの農作物の品質に影響がでてきているため、各地で高温に強い品種や南国フルーツが栽培されています。

気候変動適応情報プラットフォーム(A-PLAT)のホームページではさらに詳しく適応策について解説されています。また気候変動適応に関する子供向けサイトA-PLAT KIDS「こんにちは、適応策」もぜひチェックしてみてください。
<https://adaptation-platform.nies.go.jp/>

出典：気候変動適応情報プラットフォーム(A-PLAT)
<https://adaptation-platform.nies.go.jp/>

私たちにもできる適応策はありますか？

気象災害につながるような大雨や強い台風の上陸が心配されていますので、住んでいる地域の水害ハザードマップを確認することも適応策になります。川に近い場所や低地にある避難経路や避難所は、大雨時には冠水する可能性がありますので、安全に避難できる方法を調べておくことが大切です。



災害に備えることも大切な「適応策」のひとつ

また、気温が上昇して熱中症にかかるリスクも高まっており、環境省と気象庁が連携して「熱中症警戒アラート」を発表しています。暑い時間帯には屋外での作業や運動を控えることや、屋内でも適切にクーラーを使って、こまめに水分補給するなど、熱中症にかからないよう一人一人が予防に取り組むことが益々重要になってきています。

みなさんへメッセージ

地球温暖化は遠い将来のことだと考えている方もいらっしゃるかもしれませんが、その影響は既に様々な形で現れています。今までは大丈夫だったという考えではなく、気象災害や猛暑がこれまでより深刻になってきていることを知り、一人一人が適応策に取り組んでいただくことが大切だと考えています。

津村書店は今

津村書店の近況について教えてください

2020年末で大手町の店舗を閉店してから、現在津村書店はネット通販で販売を継続しています。探して頂くと面白い本があるかもしれません（絶版本もかなりあります）。

また、渋谷ヒカリエ8階に1ボックスの「つむらはれ丸書店」出店（2021年12月20日）しました。こちらでは通販とは違った在庫が置いてある場合があります。



←「つむらはれ丸書店」フロアの様子

気象キャスターにお勧めの本はありますか？

季節の生きもの観察手帖



生物季節観測も含めた形でキャスターさんには歳時記をもっとネタにして欲しいという想いでオススメいたします。（例：タチアオイの成長）

豪雨・豪雪の気象学



特に気象予報士の資格を取ったばかりの方に読んで頂きたい本です。難しい公式も入ってますが、豪雨・豪雪を物理の観点で知ることの出来る内容だと思います。

異常気象はこう進む（電子版で入手可能）



2001年の著書ですが、今騒がれている異常気象をこの時点で指摘している点に着目して読んで頂きたい本です。

気象キャスターへのメッセージをお願いします

気象キャスターの皆様には天気予報のほか、ふつうの方々が身近にわかりやすい情報を伝えて頂きたいです。特に地元に着した情報を伝えるためにお天気教室を開いて防災・減災を広めて欲しいと思います。



→お話ししてくださった津村京子さん（左）と取材してくださった小林秀行さん（一般会員・右）

お薦めの本がスペースにぎっしり詰まっている

しかし2月下旬に私が脳腫瘍で倒れて緊急入院し、その後一旦退院しましたが3月下旬に摘出手術を行い4月中旬に退院してからは現在までリハビリ中です。私は至って元気で、言語能力・体力共に全く問題ないのですが、外出は自宅の近所に限った形でリハビリ歩行をしているという状態です。そんな形ですので手術後はつむらはれ丸書店には出向くことがまだできずにいます。

店舗の管理はマネージャーである小林さんが確認に行ける時に週1のペースで確認に行き補充しています。キャスターネットワークの方で新刊出版や出版した本を広めたいという方がいらっしゃいましたら、小林さん宛に連絡下されば対応いたします。サイン会の開催含めてご相談を承ります。

事務局スタッフ

おすすめ書籍のご紹介



産業編集センター
今井明子（著）

面白いほどスッキリわかる！世界の気候と天気のしくみ「北極と南極、どちらが寒い？」「フィリピンの台風は冬に来る？」「北アメリカで竜巻が多発する理由は？」などなど、「地理」&「地学」から世界の気候と天気のしくみを読み解く。知っておきたい基礎知識から、意外と知られていない世界の天気、異常気象の謎まで、豊富な図解とともにわかりやすく解説。



朝倉書店
南利幸、平井史生
他（著）
真木太一（編）

図説 日本の風 人々の暮らしと関わる50の風 地域の人々の生活に深く根付いた各地で吹く特徴的な「日本の風」の、発生原因やメカニズム、地形や気候、人々の生活や産業にもたらす影響について、写真や図版を多用しオールカラーでビジュアルに解説。



山口放送株式会社
山本昇治（著）
（KRY気象予報士）

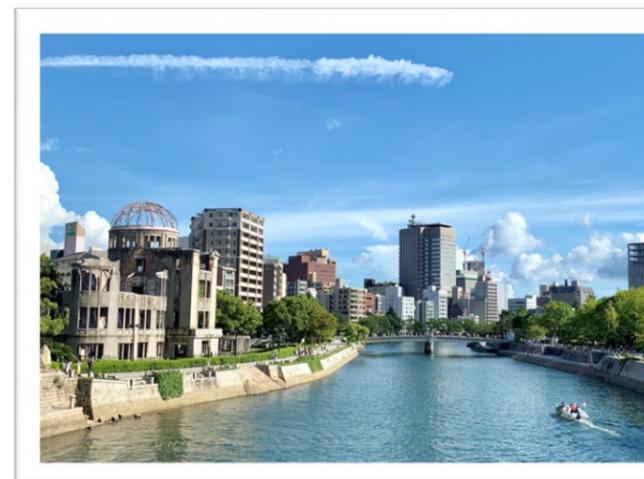
やまぐちの天気余報 暦や風物詩、生活文化など、天気予報の“余談”の話題を、山口県の気象キャスターが地元愛を込めて書き綴りました。



PHP研究所
斉田季実治（著）

空を見上げてわかること 身近だけど知らない気象予報士 気象予報士のリアルな仕事内容、未来を思い描く生き方について。新たな活躍の場として『宇宙天気』も紹介。

フォトレポート



岸真弓さん
（正会員）

広島に来て8年目、原爆ドーム付近はすっかり散歩コースになっています。朝日の光を受ける原爆ドームなど、朝も夜も四季を通して写真をよく撮りますが、青空の下では存在感がより強く感じられます。これを撮った日は青空が眩しく夏のうだるような暑さの日でした。高気圧にしっかり覆われていた1945年8月6日も同じような空が広がり、いつもの生活が始まっていたのだと思います。そして今のウクライナの戦争を思うと、ますます胸が締め付けられます。青空に祈りを込めて、平和を願います。

キャスターレポート

伊藤 みゆきさん
(正会員)



1997年に気象予報士の資格を取った後、ほとんどが早朝の天気に関わる仕事。皆さんに「朝早いの大変でしょ?」と言われるのですが、むしろ午後から夜の勤務の方がどう過ごしていいか掴めず、うっかり遅刻してしまうこともありました。

NHKラジオセンターは基本、天気の部分は予報士に任せてくれます。午前3時半に出勤し、一人で情報収集し予報を組み立て、原稿を作成…相談する人がいない中で責任重大です。しかも、原稿は解読不能な記号のメモなので、急に倒れたら代読してもらえない(苦笑)。

番組を進行する出演者やニュースデスクの皆さんとのチームワークもよく、放送の合間の雑談の勢いで各コーナーをつないだり、私も天気以外の話題でも登場することもあります。荒天時はアワアワしている私を見守って、情報を共有して下さることに救われます。腰を痛めていた時は、皆さんが交代で車いすを押して下さったこともありました…テレビと違ってどんな格好でも声さえ出れば大丈夫、というのが利点。まさか車いすでしゃべってたとは、と驚かれました。

その分、声が全てなので、言葉選びも気を遣います。「九州と四国の南部」だと九州は南部なのか全部なのかで誤情報になることもありますし、相槌だけでも性格が出るとも言われています。

全国の天気を言葉だけで伝えるのは大変な分、全国どこに行ってもアメダスによる土地勘があったり、旅先の人との会話にも事欠かなかったりします。結構リスナーさんが各地にいらっしゃって「あの伊藤さんか!」と優しくしてもらえることも(ラジオだからパッと見はバレないのもありがたい)。

近年はスマホの普及でリスナーさんとのやりとりが「声と文字だけ」から「SNS」に変化。放送中「月が見えている」というと、「ホントだ!」と各地から月の写真が届きます。皆さんの報告で予報の答え合わせもできるし、私からも画像で伝えることもできるようになっています。桜開花をパトロールしたりラッキードクダミを探したりして、日ごろからの交流を重ねることで、荒天時は「あの地域のリスナーさんは大丈夫か?」など心配になることも多々。関東が晴れでも北陸が大雨ということもあり、常に誰かの心配をしています。



限られた時間とツールでしか情報を伝えられないものどかしさはあるものの、職場の皆さんやリスナーさん、午後に遊んでくれる友人に助けってもらって、早起き生活を乗り切っています。

<ご案内> 熱中症予防情報を公開中

暑さ指数(WBGT)を表示するページを開設しております。WBGTは、気温だけでなく湿度などを加味した体感温度を表現する指数で、熱中症の危険度がわかります。パソコン向けページでは好きな地点を検索表示することが可能で、スマートフォン向けページではGPS機能で現在の暑さ指数を手軽に表示できる形となっています。情報は毎日更新されます。学校現場など、この夏の熱中症対策にぜひご利用ください。



詳しくは当会HPへ!
スマホ・携帯でも閲覧できます
http://www.weathercaster.jp/heat_stroke/

お天気レポート

大波多美奈さん
(正会員)



別府地熱発電

東日本大震災以降、自然エネルギーへの関心が高まっています。大分県別府市は、その一つ、地熱発電の先駆けの地です。その歴史は古く、1919年に海軍中將の山内万寿治という人物が、地熱利用の研究を進めるべく、別府市内で噴気孔を掘り当てたそうです。現在、温泉を利用した発電所の数は別府市内だけで47件に上ります(2017年末時点)。特に有名なのが、別府杉乃井ホテルで、自家用としては国内最大規模の発電設備を持ち、その電気はホテル内で使用されている他、地熱発電によるイルミネーションは一年中楽しむことができます。

ただ、大分県は熱資源が豊富にあるにも関わらず、地熱発電の広がりには順調とは言えません。2018年に別府市の審議会は、温泉噴出量が低下しているとの調査結果を市に報告し、開発には一定の制限をすべきとの答申を提出しています。大分県は古くから温泉による観光産業が盛んであるため、温泉の枯渇は死活問題となります。



食レポート

齋藤 綾乃さん
(正会員)



おさかな天国・長崎

長崎県は、鰯(あじ)、鯛(たい)、鯖(さば)などの漁獲高全国1位、獲れる「魚種」全国1位のおさかな天国です。海に竿を垂らすと何かしらの魚がヒットするため、すっかり釣りにハマってしまいました。今の時期(6月から9月)は、砂浜でキスが狙いやすくなります。投げ釣りで、重りが下まで沈んだら、ずりずりと引きずりながら、餌に誘いま



別府杉乃井ホテルのイルミネーション

国や自治体が手綱を取るなど、官民一体となった開発が必要なようです。

ただ、エネルギー問題に直面している日本にとって、地熱が大きな可能性を秘めていることも確かです。統計開始以来、最も早く訪れた今年の夏は電力不足が問題となりました。私達は今後、電力需要の高まりに対し、CO₂排出削減という矛盾に立ち向かっていかなければなりません。

コストや安全面の問題が大きい原子力や火力、安定供給が難しい風力や太陽光に対し、安定供給できるクリーンなエネルギーとして地熱は課題解決の鍵を握っているのかもしれない。



す。キスが食いつくと、びくびくと竿が反応します。この反応がたまりません。昨日は、約20センチの大物(私にとっては)が、釣れました。

新鮮なうちにさっそく天ぷらに。身がふわっとして上品な味わい。

サビキで釣った鰯の南蛮漬けも一緒にいただきました。まさにおさかな天国。長崎の海の幸に舌鼓の日々です。

